

特集 1 一地域の居場所づくりから一その2

～小平はぐくみプロジェクト（通称“こだはぐ”）～

前号に続き、今月号では市内東側で新たに始まった若い世代向けの居場所として、5月21日、こだはぐカフェを取材しました。

■きっかけは

代表の橋本さんは小平に住んで16年。インターネットが今ほど普及していなかった2001～2010年に「[らいおんキッズ](#)」という子育てインターネットサークルのサイト運営やそのオフ会を企画していた彼女は、そこで出会う母親たちの不安や悩みを知り、自分に出来る支援はないかと考え始めたそうです。そして一昨年、NPO法人 [Mystyle@こだいら](#) 主催のコミュニティ・ビジネス起業講座で出会った宮井桂子さん、西山みのさんと意気投合し、「産前産後ママの心と体を癒したい。支えとなり、助け合える仕組みを作りたい。」とグループ設立に向けて動き出しました。橋本さん自身はセラピスト、副代表の宮井さんはヨガインストラクター、西山さんは薬膳セラピストや[国際中医薬膳師](#)という資格を持っています。2013年11月に発足し、その後メンバーが増えて現在は10名で活動しています。

■“こだはぐ”が育みたいもの

「はぐくみ」には、「育む」と「Hug」の2つの意味と、「関わる人や思いを温め、大切にしているはぐくみ発展させていきたい」という願いが込められています。“こだはぐ”が育みたいものは、「家族の絆、夢、コミュニティ」の3つ。産前産後の女性の心と体に関する講座や、夫婦間のパートナーシップ、子育てに関する講座を開催することで「家族の絆」を、母親のキャリアやスキルを活かせる場を提供することで「夢」を、母親や父親同士の交流の場を提供したり、産前産後ファミリーを対象にした“[子育て応援カード](#)”を発行することで、地域社会に



温かい子育て支援のネットワーク作り（＝「コミュニティ」）を育みたいと考えています。

昨年度は市の[市民活動支援公募事業](#)に採択され、4回のこだはぐカフェや子育て応援券事業を展開しました。

■こだはぐカフェ@鈴木公民館

そして今年、副代表の宮井さんが以前からヨガサークルで利用していた鈴木公民館で、4月から月1～2回、ママが元気になる広場として“こだはぐカフェ”の広場事業をスタートさせました。子どもと気兼ねなくお昼ごはんを食べるところが欲しいという声に応え、調理室も兼ねた学習室で10:00～15:00までオープンしています。（日によって時間帯が変わります。）市内だけでなく西東京市から来た人もいたそうです。部屋の真ん中には、子ども達が遊べるマット敷きのスペースがあり、お茶とお菓子がセッティングされていて若い感性を感じました。取材した日は、香りのお守りサシェ作りにお母さんたちが集まっていました。6月からは、「趣味や特技を活かしたい！」とチャレンジ講師に登録しているお母さんが講師となって体験講座を開催しています。チャレンジ講師は、随時募集中とのこと。

■子育て応援カード事業

今年度は「[西武信金街づくり活動助成金](#)」を得て、市内在住の5000世帯に応援カードを配布予定。去年より使い勝手よく改良中とのことでした。



15年前（2001年）に子育て広場の活動を始めた先輩格の「[きらら](#)」や、前号で紹介した多世代交流の居場所「[ほっとスペース・さつき](#)」などとの連携もすでに行われているようです。花小金井方面は、ここ数年宅地開発に伴う若い世代の流入スピードが増し、今後も大規模開発が続く地域。そんな小平の時流も見据えた“こだはぐ”の今後の活動に注目していきたいと思います。（取材：伊藤、田原）

小平はぐくみプロジェクト“こだはぐ”

ブログ：<http://kodahug.blog.fc2.com/>

HP：<http://kodahug.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/kodahug>

お問合せ：contact@kodahug.com